



\\ こんにちは //

No. 127
令和7年2月

豊前市議会です



【11月13日 横武公民館】
(横武・合河・岩屋)



【11月14日 総合福祉センター】
(八屋・大村・宇島)



【11月15日 角田公民館】
(角田・山田)



【11月16日 総合福祉センター】
(三毛門・黒土・千束)

CONTENTS 目次

12月定例会(11/27～12/13) 主な内容

- 議案の概要・特別委員会の報告…………… 2～3P
- 令和6年12月定例会議案審議結果…………… 4P
- 議会報告会・その他…………… 5P
- 一般質問…………… 6～11P
- トピックス・編集後記…………… 12P

議会へのご意見をお寄せください

発行 / 豊前市議会
豊前市大字吉木955
TEL 82-8137 (直通)

ホームページ/
<https://www.city.buzen.lg.jp>



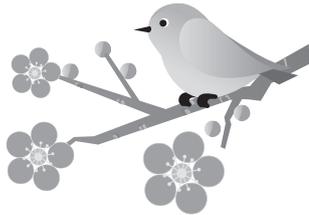
議案の概要

第6回定例会

令和6年第6回定例会は、11月27日から12月13日までの17日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より、条例案件5件、補正予算7件、その他案件2件の合計14件が提出されました。

それぞれ所管の委員会で慎重に審査した結果、原案どおり可決・承認されました。



【議案第56号】

工事請負契約の締結について

工事名称	豊前市立豊前蔵春学園整備工事
工事場所	豊前市大字下河内81番地9
契約の方法	指名競争入札
契約金額	981,200,000円(税込)



《令和6年度一般会計補正予算の概要》

11月27日「専決処分について 令和6年度一般会計補正予算(第5号)」「令和6年度一般会計補正予算(第6号)」の審査を行いました。総務委員会と文教厚生委員会では、予算の細部にわたり執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

【議案第58号】 専決処分について 令和6年度豊前市一般会計補正予算(第5号)

特に措置する必要がある経費について、承認しました。

◇衆議院議員選挙費 14,993千円

【議案第59号】 令和6年度豊前市一般会計補正予算(第6号)

特に措置する必要がある経費について、可決しました。

◇義務教育学校整備事業 28,298千円

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会	◎内丸伸一○増田泰造・爪丸雄太・渡辺美智子・村上勝二・為藤直美・郡司掛八千代
文教厚生委員会	◎梅丸晃○為藤直美・爪丸雄太・渡辺美智子・増田泰造・平田精一・岡本清靖
産業建設委員会	◎尾澤満治○梅丸晃・爪丸雄太・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代・福井昌文
議会運営委員会	◎為藤直美○尾澤満治・渡辺美智子・梅丸晃・村上勝二・内丸伸一

《令和6年度一般会計補正予算の概要》

12月9～11日「令和6年度一般会計補正予算(第7号)」、12月13日「令和6年度一般会計補正予算(第8号)」の審査を行いました。各委員会では、予算の細部にわたり執行部に質問や指摘などを行い、慎重に審査しました。

【議案第60号】令和6年度豊前市一般会計補正予算(第7号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費、その他特に設置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇戸籍住民基本台帳費	1,215千円
◇保育所等業務効率化推進事業補助金	675千円
◇保育士配置改善支援事業費補助金	297千円
◇扶助費(生活保護費)	30,850千円
◇観光客受入環境整備事業	2,311千円
◇総合交流促進施設整備事業	3,842千円
◇住宅管理費	4,431千円
◇学校管理費(小学校)	4,587千円
◇学校管理費(中学校)	6,801千円
◇教育振興費(中学校)	12,814千円
◇農業用施設災害復旧費	10,550千円

【議案第64号】令和6年度豊前市一般会計補正予算(第8号)

特に措置する必要がある経費について、可決しました。

◇人事院勧告による増額、異動等による組替え	68,359千円
-----------------------	----------

豊前開発環境エネルギー株式会社調査特別委員会の経過報告

特別委員会は、豊前市が出資している第3セクター「豊前開発環境エネルギー株式会社」役員が有印公文書偽造により逮捕された事件について、会社の事業内容や事件発生の経緯を調査するものです。委員会の内容は、以下のとおりです。

第1回(6月3日開催)

改選により新たに委員会が設置されたため、委員長及び副委員長が選任されました。

第2回(12月6日開催)

執行部より、令和6年2月15日に豊前開発環境エネルギー株式会社役員複数名を特別背任容疑で刑事告発したことに係る代理人弁護士からの報告について、説明を受けました。

◎福岡地方検察庁小倉支部及び豊前警察署から、特別背任罪での立件はできないので告発の受理はしない

◎理由は、傭船料について、純粋な傭船料だけでなく、陸上作業の委託料を含むため

この日の委員会では、会社から説明してもらいたいとの意見が出され、同社の社長及び副社長を参考人として委員会に出席してもらうことが確認されました。

豊前開発環境エネルギー株式会社調査特別委員会 ◎…委員長 ○…副委員長
◎尾澤満治○平田精一・増田泰造・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・郡司掛八千代

令和6年12月定例会 議案審議結果

「○」…賛成 「●」…反対
「議長」…議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	爪丸雄太	渡辺美智子	増田泰造	梅丸晃	村上勝二	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	平田精一	福井昌文	岡本清靖	尾澤満治	賛成	反対
議案第53号	豊前市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第54号	豊前市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第55号	ヤルディバゼんの設置及び管理等に関する条例の廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第56号	工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第57号	製造請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第58号	専決処分について（令和6年度豊前市一般会計補正予算 第5号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第59号	令和6年度豊前市一般会計補正予算（第6号）	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第60号	令和6年度豊前市一般会計補正予算（第7号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第61号	令和6年度豊前市東部地区工業用水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第62号	豊前市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議長	○	11	1
議案第63号	豊前市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第64号	令和6年度豊前市一般会計補正予算（第8号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第65号	令和6年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0
議案第66号	令和6年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	12	0



議長
岡本 清靖



副議長
福井 昌文

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

開かれた議会を目指して

第10回議会報告会を開催しました!!

日時	場所	参加者
11月13日(水)	横武公民館(横武・合河・岩屋)	41人
11月14日(木)	総合福祉センター(八屋・大村・宇島)	40人
11月15日(金)	角田公民館(角田・山田)	32人
11月16日(土)	総合福祉センター(三毛門・黒土・千束)	42人

この報告会は、市民の皆さんへ議会の中で審議・議論したことについての報告や、市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて意見交換を行うなど、市民の皆さんとの対話を通じて、信頼関係を築くことを目的に行うものです。

今回で10回目となる報告会では、議会から「督促手数料の廃止」・「市役所の機構改革」・「学校再編」・「宇島・久路土線の整備の推進」・「宇島駅前広場を整備」などについて報告し、その後、各地域からの課題や要望についての意見交換を行いました。

また、参加者からのアンケートでは、「意見や質疑の時間をもう少し増やしてほしい」・「活発な意見が出て良かった」・「学校再編についての情報を詳しく市民に知らせてほしい」などその他たくさんのご意見をいただきました。

それぞれの会場で皆さんからいただいたご意見については、今後の議会活動にいかしていきたいと思えます。

他議会からの視察受入れ報告

豊前市議会では、市の事例を紹介し、それぞれの自治体でいかしてもらえればと思い、できる限り視察研修の受入れを行っております。令和6年の受入れ状況は、以下のとおりです。

R6.1.17	福井県勝山市	議会運営委員会	7人	常任委員会の複数所属について 議会改革の取り組みについて
R6.5.22	和歌山県岩出市	総務建設常任委員会	7人	老朽危険家屋等除却促進事業
R6.7.23	大分県竹田市	議会改革調査特別委員会	7人	議会改革の取り組みについて
R6.11.11	山形県上山市	会派(蔵王)	3人	老朽危険家屋等除却促進事業
R6.11.14	埼玉県越谷市	公明党越谷市議団	6人	老朽危険家屋除却後の土地に対する 固定資産税の減免について

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無党派』の一般質問

(為藤直美議員)

- ① ゴミ減量化への取組
- ② 豊前市にかかわる103万の壁
- ③ 豊前市小中学校再編に伴う現状と課題



(爪丸雄太議員)

- ① 地域ブランド
- ② 地域通貨



(村上勝二議員)

- ① 自衛官募集
- ② 学校統廃合
- ③ マイナ保険証



(梅丸晃議員)

- 2025年問題
- ① 人口と労働力
- ② 非課税制度の活用
- ③ 医療・介護
- ④ 高齢者世帯、空き家、買物難民



(増田泰造議員)

- ① 16～18歳(高校生世代)の医療費無償化
- ② 紙おむつ給付サービス
- ③ 里道の管理



(郡司掛八千代議員)

- ① 学校再編計画
- ② 財政状況
- ③ ワクチン接種



(渡辺美智子議員)

- ① 豊前市における介護・保育現場の現状
- ② 学校再編成事業
- ③ 第三セクター



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

豊前市にかかわる103万の壁について



為藤 直美

れからの行財政の改革や改善をどのように考えているのか、各課に伺う。

財務課長 歳入確保の取組として、徴収率の向上を目的に、市報など市民向け

為藤議員 所得税が課税

されるいわゆる103万円の壁について、これを178万円まで引き上げた場合、服部知事は、福岡県と60市町村の個人住民税は年間で最大約1577億円、うち県の分として467億円減少するとの試算を明らかにした。この影響額について、豊前市はいくらになるか。

財務課長 未利用資産の売却や利活用といった行財政改革推進プランの中身をしっかりと取り組み、歳入増加及び歳出抑制を図ることで、財源の確保に努めたい。

総合政策課長 各種事業の見直し、補助金の獲得やふるさと納税制度の活用による財源確保が重要であると考えており、今後も寄付額の拡大に努めていく。

為藤議員 急激に収収が減少すると行政サービスの低下を招く恐れがあるが、まさに今後4年間、学校再編という一大プロジェクトを控えている。市民サービスの低下が一番懸念されるところであるが、こ

で、収収減は、基本的には国がするべきものと思っております。全国市長会等から国にしっかりと要請していただきたいと考えています。

市長 103万円の壁は、注目される課題の一つだと思っている。言われるように、地方財政に対して大きな打撃となる可能性があり、これについては、国が解決すべき問題であると考えている。各部署でこれまで以上に節約をし、地域に回るお金をつくる流れになればいいと思っている。

為藤議員 ふるさと納税について、令和5年度が3億6千万円、先ほど言われた103万円の壁の影響額が3億7千万円と、近い数字が見えてくる。少しでも明るい地域づくりのため、豊前市を応援していただければ、PRをお願いする。

総務部長 財政状況が厳しいことには変わりなく、行改プランの推進を柱に、歳入確保、歳出削減に職員全員が危機感を持って取り組むことが重要と考えている。それと、これは国策であるの



地域ブランドについて



爪丸 雄太

促進を図っているが、市として豊前ブランドの認定品を周知する必要があるが、いかがか。

商工観光課長 豊前ブランド認定品のPRは、主にホームページへの掲載やイベント等に出展し行っている。

爪丸議員 市民から「PRがうまくない」「ホームページが見にくい」との声を聞く。良い商品が地域の方々に愛着を持ってもらうようPRの強化をお願いする。また道の駅豊前おこしかけでは、認定品が他の商品と区別がつかない所にあるため、入口にPRブースの設置を提案する。

商工観光課長 市内で生産した農林水産物の一次産品を原料として製造・加工した商品を「豊前ブランド」と認定している。現在、21品目を認定し、令和5年度の売上げは約2100万円。認定制度の知名度の向上を図ることで売り上げも増えるため、今後もPRを進めていきたい。

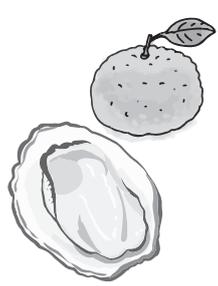
爪丸議員 特産品は、各事業者が独自ルートで販売

している。開発費、委託費、出展費、広告宣伝費などで補助率は2分の1、限度額は50万円である。

爪丸議員 補助金の周知とブランド認定品を増やすため、事業者への支援をお願いする。特産品のブランド認定について、市長にお聞きする。

市長 豊前市の自然とその恵みをいかしていくのは、我々の責務である。よそよりもおいしい物、安全・安心な物、信頼されるブランドにならないかと思っている。いま民間の方々の特産品の開発をしており、支援をしていくべきである。市民と一緒に開発し楽しむといった地域になって初めてブランド化になる。生産者や地域の皆様とも連動するようなブランド化を目指したい。

爪丸議員 豊前ブランドが地域の方々に愛され、販売促進につながり、地域の活性化になることを祈る。



学校統廃合について



村上 勝二

村上議員 令和6年3月に小中再編の設置条例が可決された。市民からは財

源や建設への不安や疑問があり、議会でも様々取り上げてきたが、建設財源の確保はどうなっているのか。

財務課長 市も将来の負担をできるだけ軽減させるため、これまで基金を積み立てて市債を減らしてきた。今後も財源確保に向けて、ふるさと納税や行政改革を行う中で歳入の増収を図り、事業を見直し歳出を削減し、中長期の財政計画をしっかりと立て、持続可能な財政運営に努めていきたい。

村上議員 財源にと市長が市民に呼び掛けた、募金の目標金額と状況は。

学校教育課長 実施予定のガバメント・クラウド・ファンディングは、目標金額

の達成に問わず集まった金額が自治体に届く制度で、プロジェクトの内容に賛同した方の思いを反映させるため、目標金額を設定していない。また、ロビーの募金箱には10000円入っていた。

村上議員 学校施設整備基金が1億円程あるが、学校再編への自己資金は。また建設費のほかスクールバスや人件費の問題などもあるが、地方債や返済計画をお聞きする。

総務部長 公共施設の整備基金が約9億数千円あり、学校整備の基金と合わせて10億円程度の自己資金がある。補助金や自己資金を除いて約60億円借入れ、償還期間は25年で考えている。

村上議員 学校の統廃合で危惧される、不登校児が増えるのではないかという問題で、県内でも先行事例がある。具体策をお聞きする。

教育長 学校の規模が大きくなったら増えるものではないと理解している。今

は学校が小さくなり過ぎてクラス替えもできない、少人数の固定した学級の中で逃げ場がない。学校再編により、3クラス規模でクラス替えができる環境になるというプラス面を考えてもらいたい。また、大きい集団で困る子どもの選択肢として義務教育学校を位置付けている。

村上議員 学校を中心とした地域コミュニティづくりの問題もあるが、何か進めているのか。

教育長 求菩提、三毛門かぼちや、感応楽など全てを含めて豊前という地域が自分たちの学びの場という形で子どもたちを育てていくことになる。地域の捉え方を変えていかなければならない。

村上議員 建設費の見通しや財源の確保も不明瞭。この統廃合が、子どもを中心に据えられているのかどうかが問われてくる。市民に示せるように、この事業に対する問題を正面から議論していきたい。

2025年問題について



梅丸 晃

梅丸議員 2025年問題は、団塊の世代が後期高

齢者となることで、社会保障費や医療・介護の人手不足、労働力不足、地域社会の活力低下などが懸念される問題である。この世代約800万人が後期高齢者となり、また少子化による生産年齢人口の減少がどのように生活に影響を与えるか、見ていきたい。

まず、高齢者世帯について、今後も高齢者の独居世帯が増えていくことは確かだ。豊前市では令和5年9月より、高齢者見守りネットワークが開設され、民間企業の協力を得て、高齢者の見守り機能強化に努めているが、これ以外に市内での高齢者見守り活動があるか。

健康長寿推進課長 民生委員・児童委員の方々の協力による見守りなどがあ

る。住民に寄り添って様々な相談に応じ、その方に必要な支援機関へつなぐ支援を行っている。見守りの目はいくつあってもよいので、地域での取組や協力体制の整備、企業との連携などを図っていく。

梅丸議員 自分で運転をし、通院や買物が困難となり、また運転免許証返納により、買物難民、交通弱者といった方が今後増加していくと考える。国の動きとして、自家用有償旅客運送、いわゆる日本版のライドシェア制度を進めている。これを活用し、地域づくり協議会で運用することは可能か。

市民協働課長 自家用有償旅客運送の実施については、まず、実施主体が法人格を有し、地域公共交通会議での協議を行い、運輸支局の登録が必要となる。加えて、地域で車両・運転手の確保等の問題もあるが、公共交通の補完の一つとして、地域づくり協議会が活動するのであれば、実施可能だと考える。

梅丸議員 スクールバスについて、学校再編の中で児童・生徒の通学手段として運用を検討しているが、日中の活用として地域の交通弱者、買物難民対策として、活用する意向はあるのか。

交通政策室長 スクールバスと地域公共交通の効果的な活用について、併せて検討していきたい。

梅丸議員 この2025年問題に対し、生涯現役社会を目指す豊前市として、市長の考えを伺う。

市長 2025年問題というのは、他人事ではないが、地域の中で、ある意味では主力の人たちで、その人たちが元気に長く活躍できるような地域社会ができたらと思うている。

梅丸議員 2025年問題は非常に深刻で、起死回生の一手があるわけではない。地域課題の解決に、各課が横につながり、生涯現役社会構築を目指す豊前市が、先駆的自治体となることを強く望む。

16〜18歳(高校生世代)の医療費無償化について



増田 泰造

増田議員 市内在住と市外在住の高校生が通院している市内の医療機関から、治療内容が同じなのに、治療の支払額が違い、院長からは、こんなことで地元にも子どもが戻ってこない、なんとかしてほしいとの切実な訴えを2回も聞いた。他自治体では行橋市が無償化、苅田町が初診料500円以外無償化、中津市が500円定額制を実施している。これを踏まえ、豊前市と周辺3町(築上町、上毛町、吉富町)の医療費助成状況についてお聞きする。

市民課長 18歳までの医療費助成対象拡大については、令和6年4月現在、通院では一医療機関当たり、吉富町が月8000円、築上町が月6000円の自己負担、入院は両町とも自己負担なし、上毛町は令和6年10月診療分から対象を拡大し、通院は一医療機関当たり月5000円、入院は自己負担なしとなっている。本市の事業は、福岡県の助成に上乗せしており、市単独の負担は、令和5年度は3868件、約1269万円となっている。

増田議員 周辺の自治体は、無償化に向け一歩先に進んでいる。令和3年9月、市は総合計画策定の基礎資料とするため、青豊高校2年生を対象にアンケート調査を実施した。テーマは希望する市やまちの将来の姿で、市内在住の生徒は「子育て支援が充実し、安心して子育てができる市」が、1位であった。周辺自治体の医療費助成の状況とアンケート結果から、高校生世代の医療費無償化を強く要望するが、いかがか。

市長 子ども子育ての根本の支援策の一つとして、子どもたちの医療費の助成は本当に大事なことである。しかし、全国の市町村間でサービス合戦をやり始めたらしきがない。ただ、私たちも、何もしていないわけではなく、財政負担がどのくらいになるのか、そういう研究をやっている。期待に沿えるときが近い将来になると思うが、なんとか頑張っていきたい。

増田議員 ぜひ早急に実現させていただきたい。



ワクチン接種について



郡司掛 八千代

郡司掛議員 ウイルスとは感染症を引き起こす原因になる微生物であり、主な感染症には、新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹などがあり、抗生物質は効果がないとある。新型コロナウイルスの健康被害認定者数は、わずか3年半で、従来型ワクチンの45年分の数の2倍を超え、死亡認定数も約66倍である。豊前市での予防接種健康被害救済制度の認定者数と合わせて、市民への公表状況を伺う。

健康長寿推進課長 豊前市における健康被害の認定者数は1件、死亡認定は0件である。健康被害救済制度については、昨年度までは接種券と一緒に説明を送付している。今年度からは定期接種となり、市ホームページなどで広報を行い、予診票にも記載して周知を図っている。

郡司掛議員 接種する際は、ワクチンの情報や注意点、救済制度について、ご確認いただきたい。市長の見解を。

市長 国が接種を推進した中で、我々がそれに反して、どこまで判断できるのか。その判断をしたときに、もし感染症拡大などにつながったときに、どう責任をとれるのか、非常に難しいところだと思う。政府が進めてきた流れの中で対応していくのが、我々のできる範囲での対応ではないかと、そういうふうには判断している。

郡司掛議員 地方自治体と国との関係は難しいと思うが、今後も市民目線でお願する。



第三セクターについて



渡辺 美智子

渡辺議員 豊前市の第三セクター「豊前開発環境工ネルギー株式会社」の経過について質問する。議会では、この調査特別委員会を11回開催している。豊前市は令和6年2月15日、同社に対し一般に相当とされる金額を大幅に超える金額で契約を行い、損害を与えたとして特別背任容疑で告発した。市報3月号の市長の部屋には「市長として刑事事件になったことを真摯に受け止め、市民の皆様説明をする責任がある。彼らを見逃すわけにはいかない」と記載していた。令和6年10月30日に弁護士より報告があったが、告発後の経過と結果について、お聞きする。

豊前警察署に告発状を提出した。その後、弁護士へ特別背任罪で立件はできないとし告発状の受理はないという報告があった。不受理の理由は、調査の結果、備船料には陸上作業の委託料も含まれることが分かり立件できないと判断したためである。この結果については、11月7日の議員全員協議会で報告をした。

渡辺議員 市長は市民にきちんと説明する責任があると言っていたので、今後、市長の部屋にその内容がしっかりと記載されることを願う。また関連して、5月12日の西日本新聞の朝刊に、維新の候補者がアルバイトを雇い、ビラを配布したとの記事が掲載された。事実確認が出来ていないのに、犯罪を犯した人のように決めつけてばらまくという行為は、非常に大きな影響がある。当時の候補者は代議士になっているが、報道内容を周知しただけで問題はないと聞き直っていた。虚偽の情

報を信じ込ませ、罪なき人を犯罪者にまつり上げることは、倫理に反すると考える。これらの件を信じる市民が多すぎる。市民の生命・財産、安心を守り、正しい情報を提供するのが市の責務であると考えます。不確かな情報を元にビラを配布した当時の維新の候補者へ、市として何か訂正や対応を求めるのか、今後の調査特別委員会ですっかりと聞きたい。また、こういった情報を払拭できるように、市としても疑いを掛けられた方々の名誉回復に努めることを強く要望する。



一般質問

そこが聞きたい
なんとかしたい

『新世清友会』の一般質問



平田 精一



福井 昌文



内丸 伸一



秋成 英人

- (秋成英人議員)
- ① 投票率向上の為の取組
 - ② 学校再編
 - ③ 豊前市の財政情勢
- (内丸伸一議員)
- ④ 観光・スポーツ行政
 - ⑤ ゴミ焼却施設
 - ⑥ 漁業振興施設
 - ⑦ 学校再編



市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

QRコードから
一般質問の動画を
ご覧になれます。



※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「ですます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

豊前市の財政情勢について

秋成議員 学校再編の校舎の建設費用については、約95億円かかるということであるが、この95億円は、豊前北小学校、豊前中央小学校、蔵春学園の改築費及び豊前中学校の新築費用の建物にかかる工事費の総額ということではないか。

学校教育課長 間違いない。

秋成議員 学校再編は、必要なものであると認識している。現在の14校を維持する金額と現行の計画で学校再編をした場合の金額を比べると、学校再編のほうが中長期的に見て金額が低くなるということである。ただし、当初の計画から校舎だけで約29億円増加した状況の現在、市の財政上このまま進んで大丈夫なのかという疑問が生まれる。建物の工事費は約95億円、これに対して国の補助金が約20億円、残り75億円を一般財源で賄う。この一般財源75億円のうち、約60億円は借金で賄うということである。この

60億円を25年間で返済していくということだが、間違いないか。

財務課長 おっしゃるとおりである。

秋成議員 この返済は、25年ということだが、返済はいつからか、金額は毎年いくらか。

財務課長 試算値であるが、年間の償還額は、約2億7千万円になる予定である。元金の償還は、令和10年度から予定している。

秋成議員 当初見込んでいた計画より事業費が高くなるということは、毎年の借金の返済額も高くなるということである。総工費が当初より増加し、現状で起債が60億円ということであれば、これは本当に大丈夫なのかと思う。市の借金が当初の予定より多くなり、自由に使えるお金が減った場合、例えば市民サービスが削られるなど、市独自の事業に支障をきたすことはないのか。

財務課長 財政状況はとも厳しいが、起債残高を減らした。それに伴い償還

額も減り、現状では令和10年度までに減少する予定の償還額が、学校再編での借入額に対する償還額と同額となる見込みである。今後とも計画を立てて、住民サービスは現状の水準を保ちつつ、今後も事業の見直しに努める。

秋成議員 あつてはならないことだが、学校再編をきっかけに再び財政再建団体になった場合、どのようなことが起きると考えられるのか。市民、市内企業そして市役所で働く職員にどのような影響があるのか。

市長 そういう想定はしていない。

秋成議員 市の財政状況は決して豊かではなく厳しい状況にある。また市民にとつても、この事業の実質的な負担等について、知らない方も多いと思うので、工事費、資金計画、返済について、広く、しっかりと市民に示していただきたい。

ゴミ焼却施設について

内丸議員 ゴミ焼却施設の老朽化が進み、更新時期を迎える。3月号の市長の部屋では、新しく焼却場を建設するには約100億円が必要であり、学校再編を抱える市では背負える額ではないとのことである。そのため、市長は、ごみの減量化に取り組み、燃やすしかないごみにするまで分別するしかないと言っている。市としては、今後ごみの分別や焼却場更新はどうする予定か。

市民福祉部長 ごみの分別については、できるだけ分別をし、資源化することが必要と思うので、今後取り組みを進めたい。施設については、豊前市外二町清掃施設組合で検討していることになると思う。

内丸議員 11月1日に開催された組合議会で、中津市との焼却場共同運営について各市町で結論を協議するということであったが、豊前市では9月議会最終日の全員協議会でさらっと説明を受けただけで、議会として協議などし

ていない。この件について再度経緯の説明を願う。

市民福祉部長 組合で運営しているごみ処理場については、更新が必要になっており、同じく中津市も処理場の更新を計画していたため、組合に共同処理の提案があった。それについて事務レベルで協議を進めていたが、中津市から期限を決めて共同処理に参加するかどうか回答がほしいということ、9月議会最終日の全員協議会で説明し、その後十分な説明がされなかったということ、11月7日の全員協議会でお詫びをし、事情等、状況を説明させてもらった。

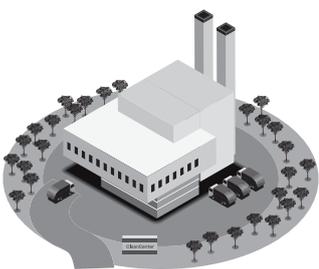
内丸議員 回答期限が10月31日に切られていて、その話を11月1日にするのは、どうかと思う。地元環境衛生協議会についても、報告が必要だったと思うが、地元が納得できるような対応を、今後はしっかりとやっていただきたいと思います。いかがか。

市民福祉部長 今回の経過については、11月28日に協議会で説明をさせてもらった。組合事務局と連携して、今後決定する更新計画についても、地元を理解していただけるよう対応したい。

内丸議員 この件は、議会を軽視し、そして無視して話が進んでいるように感じる。市政運営上、問題があると思うが、今後はしっかりと対応していただきたい。市長、いかがか。

市長 ごみ処理、最終処分については、組合が事業主体で、議会軽視には当たらないと思っている。情報提示のタイミングが非常に遅くなったところもあるが、そういうことにならないよう、これから気を付けて取り組んでいきたい。

内丸議員 組合議会のほうでもこの話、分かっている状況があった。しっかりと説明していただきたい。



豊前市カラス天狗祭り参加



カラス天狗祭り式典の様子

令和6年10月27日、フレスポくぼてんタウンにて開催された第32回豊前市カラス天狗祭りに、参加しました。

今回のお祭りは、衆議院議員総選挙の投票日と重なりましたが、来場者も多く大盛況で、ステージイベントや物産等を楽しむ人で賑わいました。

市PTAとの意見交換会



市PTAとの意見交換会の様子

令和6年11月12日、総合福祉センターで、市PTAとの意見交換会を行いました。議会からの報告の後、市政全般や市の課題・要望について意見交換を行いました。

学校に関する貴重なご意見・ご要望を多く頂き、とても有意義な意見交換会となりました。

編集後記

2025年がスタートして早くも1ヵ月が過ぎました。

今年は巳年であります。蛇が脱皮をして、新たに生まれ変わるその姿が、復活と再生の象徴とされています。

巳年は、新しい挑戦や変化に対して前向きに取り組む年であります。

挑戦することは新しい自分を知ることができ、また新たな世界を知ることができます。

皆様も今年一年、何か新たな挑戦をしてみたいはいかがでしょうか。

今年一年が、皆様にとってより良い年になることを願っています。

爪丸 雄太

次回の定例市議会は
2月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。
みなさんの傍聴をお待ちしています。
また、本会議については、インターネット中継
をしております。

- 編集 編集委員会
委員長：梅丸晃
副委員長：渡辺美智子
委員：爪丸雄太 増田泰造
村上勝二

- 印刷 築上印刷有限会社